

## 三遠南信地域社会雇用創造事業の提案採択について

三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）は、内閣府の「地域社会雇用創造事業」（別紙参照）にかかる事業主体として、3月16日、採択の通知を受けましたのでお知らせします。

当該事業は、内閣府が事業主体を全国公募していたもので、2月19日に提案書を提出、書面審査を通過後、3月9日の「選定・評価委員会」における提案概要のプレゼンテーション審査を経て、採択されたものです（53事業者の応募のうち、採択は全国12事業者）。

1 事業名 三遠南信地域社会雇用創造事業

2 事業主体 三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）

3 交付予定額 7億円

4 事業期間 交付決定日から平成23年度末まで

### 5 事業目的

次の三つの社会雇用創造分野において、インキュベーション（起業支援）事業及びインターンシップ（職場体験）事業の実施により、三遠南信地域の雇用創造のネットワーク・システムを構築し、社会企業や雇用を創造します。

- (1) 自然資源分野（森林ビジネス、地域資源ビジネス）
- (2) 地域づくり分野（まちづくりビジネス、中山間地域ビジネス）
- (3) 安心安全分野（福祉介護ビジネス、食農・地産地消ビジネス、）

### 6 事業内容

国からの地域社会雇用創造交付金により、SENAに（仮称）三遠南信地域社会的企業支援基金を設置し、基金を原資として次の事業を実施します。

#### (1) 社会起業インキュベーション事業

三遠南信地域においてビジネスインキュベーションの実績を持つ諸機関と連携し、シルバー層等による「企業内からの起業」、大都市流出層による「ふるさと起業」、地域内居住者による「地域内起業」を支援します。

#### (2) 社会的企業人材創出・インターンシップ事業

三遠南信地域において社会活動の実績を持つNPO法人等と連携し、非就業者（期間雇用者等）日系外国人などを対象としたインターンシップ事業を行い、社会的企業への就職を支援します。

### 7 その他

(1) 事業の推進体制や事業内容の詳細は、検討のうえ後日公表します。

(2) SEN A会長（浜松市長 鈴木康友）、豊橋市長、飯田市長の採択にかかるコメントは別紙のとおりです。

この資料は、SENA 事務局が内閣府資料から国の制度概要等をまとめたものです。SENA 事業の推進体制や事業内容の詳細は、今後検討のうえ、後日公表いたします。

平成 22 年 3 月 17 日

## 地域社会雇用創造事業について

### 1 趣旨

- ・「明日の安心と成長のための緊急経済対策」(平成 21 年 12 月 8 日閣議決定)の一環として、国が NPO 等民間事業者や地方公共団体等へ、地域社会雇用創造交付金を交付
- ・事業者は、社会的企業支援基金を造成し、社会的企業の起業支援、人材創出等の事業を実施
- ・これにより、地域社会における事業と雇用を加速的に創造  
国の平成 21 年度第二次補正予算へ計上(予算額 70 億円)  
事業実施期間は、平成 23 年度までの 3 か年度

### 2 事業概要

事業者は地域社会雇用創造交付金により基金を造成し、次の事業を実施

#### 社会起業インキュベーション事業

- ・NPO や社会起業家など社会的企業等の創業・事業化を通じて、「地域社会雇用」を創造
- ・社会起業プラン・コンペティションの開催などを実施
- ・社会起業家のスタートアップ等を支援するため「起業支援金」を提供
- ・事業全体(全国)で 800 名を目途に起業支援

#### 社会的企業人材創出・インターンシップ事業

- ・社会的企業分野におけるインターンシップを含めた人材創出に取り組む。
- ・地域の NPO 等へのインターンシップなどにより、6 週間以上の人材創出事業を実施(一定の要件の下、「活動支援金」を提供)
- ・事業全体(全国)で 12,000 名を目途に人材創出

#### 社会的企業

～ に掲げる分野など、地域の生活に密接に関連するサービス事業を行う主体であって、当該分野における少子高齢化や環境被害、地域の衰退等の社会的課題について、事業性を確保しながら自ら解決しようとする姿勢を積極的に打ち出し、非営利事業を行う NPO 等のこと。継続的に事業を行う主体であり、一度限りのボランティア活動等を行う主体ではない。

福祉・介護・子育て 就労・起業支援 農林・漁業振興  
地球温暖化防止・リサイクル まちづくり・商店街振興  
地域資源を活かした観光・産業振興

平成22年3月17日

三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）事務局  
（浜松市企画課内）

会長コメント

053-457-2242 担当：久米秀幸

## 三遠南信地域社会雇用創造事業の提案採択について

---

提案採択にかかる三遠南信地域連携ビジョン推進会議会長（浜松市長 鈴木康友）  
のコメント

- ・三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）の提案が評価され、採択をいただいたことは、三遠南信地域にとって、たいへん意義深く喜ばしいこと。
- ・今年度、国土交通省から受託した広域地方計画先導事業に続いての採択であり、本地域の取り組みが、全国的にも注目されていることの証と考える。
- ・内閣府への事業提案について、本地域の課題である景気低迷による製造業を中心とした雇用環境の悪化や中山間地域の振興について、非就業者や日系外国人を対象としたインターンシップの実施、社会雇用を創造する分野として、森林ビジネスや中山間地域ビジネスなどを提案したことを評価いただいたものと認識。
- ・また、提案内容とともに、事業主体であるSENAについて、行政、経済界、大学など地域の多様な主体の参画を得た組織であり、連携ビジョンに基づき連携から融合に向け取り組んでいることを評価いただいたと思っている。
- ・三遠南信地域社会雇用創造事業について、SENAを中心とした雇用創造ネットワークの構築により、社会的企業の人材創出や起業の支援、また雇用のミスマッチが顕在化している介護や林業分野への雇用移転を進めたい。
- ・会長として、具体的成果が得られるように、圏域の市町村や経済界、教育・研究機関などと十分に連携し、圏域が一体となって取り組む所存。SENAが、わが国の県境連携モデルであるとの自負を持って、事業に取り組みたい。

## 豊橋市長コメント

### 三遠南信地域社会雇用創造事業の提案採択について

昨日16日、内閣府から地域社会雇用創造事業の事業主体にSENAが選定された旨の連絡が入りました。

本事業は、三遠南信地域の人材育成と起業を促す事業で、この地域の将来を見通すとき、大変重要な役割を果たしていくものであると考えています。

こうした事業に選定されたことは、20年近くになろうとする三遠南信地域の継続した取り組みが国から高く評価された結果だと考えています。

また、この事業を三遠南信地域の多様な機関が一体となって、一つの目標に向け実施していくという意味でも、連携と融合を目指す当地域が全国の広域連携の先駆的な事業になるものと確信しています。

そうした意味で、本事業の採択をSENAが得ることができたことは、大変喜ばしいことと考えています。

今後、圏域の産業界や自治体はもとより、各大学、シンクタンク、産業支援機関、NPOなど関係機関と協力して、事業の実現を図っていきたいと考えています。

平成22年3月17日

豊橋市長 佐原 光 一

(豊橋市 企画部 広域推進課長 鷺坂浩孝 0532-51-2183)

### 三遠南信地域社会雇用創造事業の提案採択についての飯田市長コメント

- ・ 今後、少子高齢化・人口減少がますます進行する中、地域社会を持続可能なものとしていくためには、「経済の自立」や「人材」の視点は欠かせないことから、南信州地域では、地域経済活性化プログラムによる、LED防犯灯プロジェクトや航空宇宙プロジェクトなどの取り組み、多様な主体による低炭素な地域を目指す環境モデル都市の取り組みを、南信州定住自立圏として取り組んでいるところである。
- ・ こうした中から、市町村と民間事業者、さらには住民が強い結びつきをもって、南信州観光公社やおひさま進歩エネルギーなどといった地域社会を支える事業者やシステムを創出してきたが、こうした取組を積み重ねていくことは、多様な主体の協働による地域社会の構築や、多様なライフスタイルの実現につながるものである。
- ・ このような活動は三遠南信の各地域で取り組まれていることであり、三遠南信連携ビジョンに基づく連携が今回の事業提案に繋がったものとする。
- ・ このたび採択された事業は、地域における社会的起業や人材創出等を目的としたものであり、三遠南信の三地域の融合を目指す取組みが、全国的なモデルとして評価されたものと思う。
- ・ 今後、事業推進を通じて、県境を越えた三地域の関係がますます深化していくことを期待したい。

平成 22 年 3 月 17 日

飯田市長 牧野 光朗

(飯田市 企画部 企画課長 仲村茂樹 0265-22-4511)

平成 22 年 3 月 17 日

## 三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）について

### 1 経緯

- ・ 平成 5 年度から三遠南信サミットを毎年度開催し、三遠南信地域の交流を促進
- ・ 平成 18 年度の第 14 回サミットにおいて、道州制において**同じ道州を目指すことを決議**
- ・ 平成 19 年度の第 15 回サミットにおいて、**三遠南信地域連携ビジョンを合意**し、平成 20 年 3 月、地域の将来像を「**三遠南信 250 万流域都市圏の創造**」とする三遠南信地域連携ビジョンを策定
- ・ ビジョンを推進するため、**三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）を設置**
- ・ 平成 20 年 11 月、浜松市企画課内に**事務局を設置**
- ・ 平成 21 年 4 月、事務局に豊橋市、飯田市の職員を配置し、組織体制を強化

### 2 役割

- (1) 三遠南信サミットの開催
- (2) 連携ビジョンに定めた重点プロジェクト（以下「重点プロジェクト」という。）の推進
- (3) 重点プロジェクト推進状況の評価
- (4) 道州制に関する国等への働きかけ
- (5) NPO 法人、企業等が取り組む三遠南信地域の連携に資する活動に対する支援
- (6) 三遠南信地域の一体的な圏域を確立するための組織の検討

### 3 構成団体（平成 22 年 3 月 17 日現在）

- ・ 28 の市町村  
（三遠南信地域交流ネットワーク会議）
- ・ 52 の商工会議所・商工会  
（商工会三遠南信地域経済開発協議会）
- ・ 県・市町村の道路部局など  
（三遠南信地域整備連絡会議）

